

平成 27 年度野崎西小学校 全国学力・学習状況調査結果の概要と今後の取組について

平成 27 年 10 月 8 日

はじめに

学校教育は「人格の完成」を目的とするものです。人格の完成のためには「生きる力」言い換えれば、[確かな学力]、[豊かな人間性]、「健康と体力」を育てていかなければなりません。【確かな学力】とは知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力」まで含めたものです。

平成 26 年度に実施された全国学力学習状況調査の和歌山県の結果が全国的にたいへん低い結果であり、保護者の方々にもご心配をおかけしました。先日平成 27 年度全国学力・学習状況調査の結果が公表され、和歌山県の学力が昨年度に比べて改善されました。野崎西小学校結果も 26 年度に比べると改善されてきています。しかしまだまだ課題もあり保護者の皆様方と協力をしながらなお一層の取組が必要であると考えています。私たち野崎西小学校の職員は学力向上について何度も会議で話し合い、本校の学力テストや児童質問紙からどこに課題があり、今後どのような取組が必要であるのかについて話し合いました。

学力向上のために野崎西小学校の課題とそれに向けての具体的な取組を職員全体で考えましたので、保護者の皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

調査内容

実施日 平成 27 年 4 月 21 日（火） 対象 第 6 学年 3 学級 78 人

全国学力・学習状況調査は、国語・算数ともに「知識」に関する問題を主とした A 問題と「活用」に関する問題を主とした B 問題の 2 つがあります。A 問題、B 問題ともに国語は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の 3 領域と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の 1 事項に、算数は、「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の 4 領域に分かれています。さらに今年度は理科の学力テストも実施されました。また、同時に児童質問調査もあり、この中では児童の学校や家庭における学習状況や生活の様子が分かります。

調査結果の分析より

1 国語科

比較的すぐれている学習内容

- ・国語 A の正答率は少し全国平均を上回っている。国語科の知識に関しては定着していると考えられる。
- ・漢字の読み書きについては正答率が高く、全国平均を上回っている。平成 24 年度から漢字博士試験を実施している効果であると考えられる。
- ・主語や述語の関係について理解は全国平均を上回っている。

課題があると思える学習内容

- ・国語 B の正答率は全国平均を下回っていて、本校の一番の課題だと考えられる。
- ・問題文のページがまたいでおり、問題文を最後まで読み進めていく力が足りない。
- ・目的に応じ、文章の内容を的確に要旨を捉えることが難しい。
- ・文章を書いて答える問題になると、書き方の条件が 1 つではなく、2 つや 3 つある。最後まで解答し

ているが、条件が満たされておらず、不正解となっていることが多い。

2 算数科

比較的すぐれている学習内容

- ・算数 B の正答率については、全国平均を少し上回っている。
- ・加法や減法の問題は全国に比べ、正答率がよく簡単な数の加法や減法の計算はできている。
- ・平行四辺形の定義を覚えていたり、正三角形の性質を理解したりしていることが分かる。

課題があると思える学習内容

- ・算数 A の正答率については、全国平均を少し下回っている。
- ・二等辺三角形の性質を理論立てて説明する力が劣っていると考えられる。
- ・あらゆる情報を整理し、再構築する力が劣っていると考えられる。
- ・単位量当たりの値段に変換して考えられている子が少ない。与えられた情報の中から、自分が必要な情報に置き換えて利用する力が弱い。(情報活用能力が弱い)



3 理科

比較的すぐれている学習内容

- ・水の温まり方は子どもたちの興味・関心をひく単元であり、実験も子どもたちの印象に残るものであったので正答率が全国平均より高かった。
- ・動植物の養分摂取の問題は、5年生の初めに実際にメダカやインゲン豆を育てており、より強調して教える部分だったので、正答率が全国平均より高かった。

課題があると思える学習内容

- ・電磁石の働きを利用した振り子について、試行した結果を基に自分の考えを改善する問題で、(振り子)と(電磁石)の単元が混ざった複合的な問題であった。今までに子ども達が解いたことの無いような問題になっており、様々な条件を考えなければならなかった。子どもたちは問題を解くのが難しかったのではないかと考えられる。
- ・顕微鏡の適切な操作方法を身に付ける問題は、経験不足からか正答率が全国平均を下回っている。

4 児童質問紙からの課題

比較的すぐれていると思える内容

以下の質問の答えが全国より良い傾向になっています。

- ・発表が得意である。 学校に行くのは楽しいと思いますか。
- ・毎日同じくらいの時刻に起きていますか。

・自分にはよいところがある
と思いますか。

・学校のきまり、規則を守って
いますか。

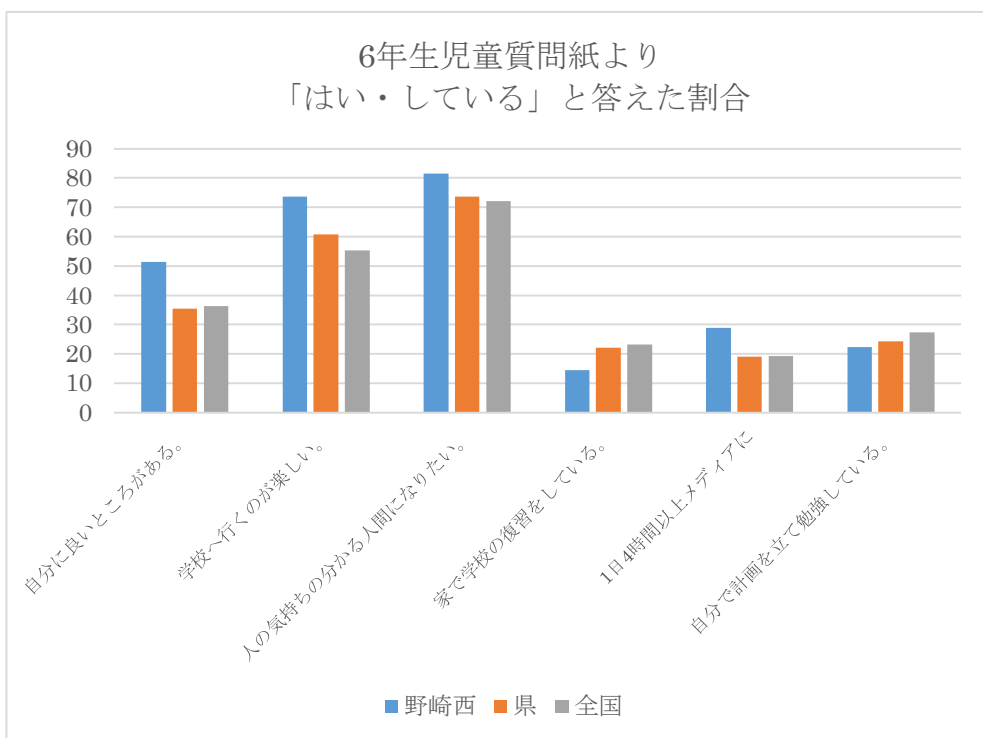
・人の気持ちがわかる人間に
なりたいと思いますか。

・いじめはどんな理由があっ
てもいけないことだと思いま
すか。

・人の役に立つ人間になりたい
と思いますか。

以上の質問には「思う」と答
えた子が大変多く、子ども達は
学校生活が楽しく過ごせ、自己
肯定感の高い子が多いと考え
られる。また規範意識や思いや

りのある子ども達が育っていると思われる。野崎西小学校の子ども達は素直で子どもらしい子が多い学
校であることがこの結果からも分かる。



課題があると思える内容

全国に比べて以下の質問への答えに課題が見られます。

- ・1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ、DVDを見たり、聞いたりしますか。「4時間以上している」と答えた子の割合が多い。
- ・理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかをふり返って考えている子が少ない。
- ・今住んでいる地域の行事に参加している子が少ない。
- ・「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」という問いに対しては、「寝ていない。あまり寝ていない」と答える子の割合が高く、夜の生活が不規則になっている子が多い傾向にあると考えられる。また、一日当たりのテレビゲーム等に費やされる時間が全国平均より多くなっており、夜の生活が不規則になっている原因の一つではないかと考えられる。
- ・家で学校の授業の復習をしている子が少ない。
- ・「自分で計画を立てて勉強をしていますか」という問いに対しては「あまりしていない」と答える子の割合が多く、自ら進んで計画的に学習する習慣が身につけていない傾向にあると考えられる。
- ・「算数の問題の解き方が分からない時には、あきらめずに色々な方法を考えますか」という問いに対しては、「あまり考えない」と答える子の割合が高く、粘り強さや集中して考えようとする意欲が少ない傾向にあると考えられる。

調査結果を受けて野崎西小学校で具体的に取り組んでいること

国語科についての取組

- 1 新聞や雑誌も含め色々な本を読む機会を増やします。毎週金曜日には「紀州っ子学びノート」を活用し「うちどく」の宿題を出すことで本を読む機会を増やし、授業の中でも学年に応じて新聞や雑誌等様々な文章を取り上げ、要点をまとめたり、要約したり、文章を読んで自分の考えを書いたりする学習を取り入れます。
- 2 国語だけでなく、すべての教科で「書く活動」を大切に、「書く力」を高めます。
- 3 漢字の博士試験を継続的に実施し、漢字の力を高めます。
- 4 短作文を書く機会を多くし、作文の書き方を丁寧に指導します。
- 5 語彙や語句の力を向上させるために「ことわざ」や「慣用句」などにもふれる機会を増やします。
- 6 日頃から国語辞典や漢字辞典を使う機会を増やし、言葉の力を高めます。

算数科についての取組

- 1 学校で基本的な四則計算をできるように繰り返し練習したり、宿題に出したりすることで定着を図ります。
- 2 答えを導き出した後に確かめをする習慣を身に付けさせる指導を行います。
- 3 算数ノートに自分の考え方を記録し、説明ができるような時間を取ります。
- 4 資料や長い文章の問題に慣れさせるような問題を授業で使います。
- 5 できるだけ具体物や体験的な学習を多くすることで、学習意欲を育てます。
- 6 調べ学習室やパソコン等 ICT を活用した授業を増やします。

理科についての取組

- 1 できるだけ子ども達が多くの実験や観察ができるように実験道具の数を確保し準備をします。
- 2 子どもたちから疑問を出し、その疑問に仮説を立て、それを実証するために実験を行う問題解決学習を展開していくよう、授業構成を心がけます。
- 3 子ども達に問題に対して最後まで集中して考えようとする力をつけられるような学習をします。

児童質問紙の課題や全般についての取組

- 1 野崎西小学校では昼学と月曜日と金曜日の放課後フォローアップタイムを設定しています。
下の表のように従来から実施している「昼学」に加え、フォローアップタイムを設定し、一人一人の学力の向上を図ります。

	月	火	水	木	金
昼学の内容 13:25～13:40	国語（漢字博士）	算数	読書（5・6年） 12:55～14:10	算数	朝の運動
フォローアップタイム 放課後	14:35～14:55 1・2年生 15:25～15:45 3・4・5・6年生		西っ子タイム 3・4・5・6年生		14:35～14:55 1・2・3年生 15:25～15:45 4・5・6年生

※フォローアップタイムとは授業中に十分できなかったことを補習する時間です。

※1年生は2学期からフォローアップタイムを実施します。

※昼学は全員参加ですが、フォローアップタイムへの参加は自由参加になります。今からでも参加希望があれば担任まで申し出てください。

※クラブ・委員会・学校行事等がない水曜日5限、3・4・5・6年生は「西っ子タイム」として学力向上のための時間を設定しています。

※フォローアップタイムへの参加を事前に保護者の方にお知らせをしますが、下校が普段より遅くなり、少人数での下校になることをご了承ください。

※陸上競技大会の練習や学校行事等の関係でフォローアップタイムが実施できないこともあります。

過去の学力テストへの取組

子どもたちは長い文章や資料を読み取り問題を解くことに慣れていないと考えられます。そのため過去の学力テストを算数や国語の時間取り上げ学習します。

サマースクールの実施

以前からも取り組んでいますが、夏休み中に学年に応じてサマースクールを開催します。高学年の参加が少ないように思います。できるだけ多く参加をお願いします。

家庭学習や基本的な生活習慣についての取組

- 1 家庭で学習の習慣を身に付けるために昨年度から「家庭学習のてびき」を作成しました。これを参考に毎日ご家庭でも机に座って宿題や自主学習をする習慣を身に付けさせてください。
特に宿題以外でも毎日の復習が大切ですから自主学習ノート等で取り組ませてください。
- 2 早寝・早起き・朝ごはんやゲームの時間など生活のリズムと学力はたいへん関係が深いと言われています。保健便り臨時号として9月に「元気のざき西っ子」を発行しているので保護者の皆様も子ども達の基本的な生活習慣の定着にご協力をお願いします。なお昨年度から「早寝・早起き・朝ごはんのススメ」を作成したので、お子様と話し合う資料としてご活用ください。